

旭ヶ丘キリストの教会
 主の復活日礼拝順序
 2026年4月5日

司会：千田俊昭
 奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌 151 「よろずの民」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
教会学校	紙芝居「からっぽの墓」	牧 師
讃 美	讃美歌 496 「麗しの白百合」	一 同
聖書朗読	イザヤ53:1-5(口語p.1021)	
奨 励	イザヤ書の福音(第19回)	牧 師
主 題	「甦りの命に生きる」	
讃 美	讃美歌 148 「救いの主はハレルヤ」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌 545 「父の御神に」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	使徒行伝第 23 章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないキリスト個人主義の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【今週の歩み】

- 4 / 5 (日) イースター礼拝
- / 6 (月) 13:30 説教塾(東一番丁)
- / 7 (火)
- / 8 (水)
- / 9 (木) 10:00 祈り会
- / 10 (金)
- / 11 (土) 13-16子供おブハウス



《コトドン脚のカハリの墓》

【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「復活を事実として裏付ける4つの核心的状況」

(「幸いな人」2026年4月号特集)より

科学は復活を「証明」できるのか？

自然法則を研究する「科学」は基本的に「再現可能性」を土台としています。実験室で同じ条件を整え、結果を再確認する必要があります。しかし、復活は歴史上、ただ一度起きた「超自然的な事件」であり、自然法則のみを扱う科学の範疇を超えています。

したがって、復活を科学的に考察する際には「歴史的推論」や「法医学的ロジック」を用いることになります。歴史的データの信頼性(文献学的科学)に基づき、聖書をはじめとする当時の記録がどれほど正確であるかを分析するのです。これは事件後に残された状況証拠から犯人を割り出す捜査過程に似ています。

1. 空の墓とローマ兵の警備(考古学的・法医学的証拠)

イエスの墓は巨大な石で塞がれ、ローマの精鋭部隊が守っていました(マタイ27:65,66)。遺体が消えたことは、ユダヤ当局も認めています。弟子たちが盗んだとすればローマ軍を突破しなければならず、当局が隠したなら遺体を公開してキリスト教の拡散を阻止したはずですが、しかし遺体は発見されませんでした。

2. 目撃者の存在と証言の一貫性(法医学的証拠)

聖書と歴史記録によれば、復活したイエスを目撃したのは500人(1コリント15:3-8)女性や子供を合わせれば約15,000人を超える集団でした。幻覚は個人的な脳の経験であり、法医学的に「集団幻覚」は不可能に近いとされます。

3. 弟子たちの急激な変化(心理学的・状況的科学的)

師の処刑に怯えて逃げた弟子たちが、突如「復活」を叫び始めました。人間は自ら作りあげた嘘(詐欺)のために喜んで殉教することはありません。彼らの心理的変容は歴史的な実体験なしには起こりえない不可逆的な変化です。

4. 迫害者の回心(歴史的証拠)

迫害者であったパウロや、イエスを信じていなかった弟ヤコブのような懐疑論者達が(ヨハネ7:5)、復活したイエスに出会って人生を完全に変わられました(ヤコブ1:1、ユダ1:1)。彼らの劇的な変化は、強力な外的事件(復活)があったことを示唆しています。



《コトドン・カハリの墓内部》